

2020年度第3四半期 決算報告書

プレスリリース
2020年11月3日、パリ発



2020年度第3四半期:レジリエンスの高さを示した決算

営業収益は安定的

前年同期比 横ばい

営業費用は大幅減—ジョーズ効果はポジティブ

前年同期比 -3.8%

営業総利益は堅調に増加

前年同期比 +7.9%

健康危機により、リスク費用が前年同期比で増加

57 bp¹

純利益²は底堅い

純利益²: 18億9,400万ユーロ (前年同期比-2.3%)

普通株式等Tier1比率が上昇

普通株式等Tier1比率: 12.6%

2020年1-9月純利益²: 54億7,500万ユーロ(前年同期比-13.4%) - 2020年度の純利益²見通しを上回る

1. リスク費用+顧客向け融資期首残高 (単位: ベーシスポイント); 2. 親会社株主帰属純利益



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



2020年11月2日、BNPパリバの取締役会が開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2020年度第3四半期の業績が検討され、財務諸表が承認されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に以下のように述べました。

「様々なダイナミクスが各地域・セクターで錯綜している経済状況下、BNPパリバは財務面の盤石さ、多角的なビジネスモデル、事業基盤における執行能力を備え、高いレジリエンス（強靱性）を体現しています。

今回の危機の勃発以降、BNPパリバの全チームが一貫してお客様をご支援してきたこと、経済を後押ししてきたこと、気候変動対策を加速してきたことに敬意を表します。当グループは、実践を追求し、結束にコミットし、今回の危機の影響軽減に最大限の貢献を続けています。

BNPパリバは、こうした非常時においても、エッセンシャルサービスの担い手として、あらゆる地域において、環境への適応を続け、お客様をご支援する活動を組織化すると共に、従業員を守り、持続可能で健全な経済の実現に向けて邁進しています」

*
* *

経済に資する結束力を示し、レジリエンスの高さを決算で証明

BNPパリバのビジネスラインはこぞってコロナ危機で生じた特定の経済的ニーズに対応し、経済に資する結束を続けています。

第3四半期の景気回復は緩やかで、各地域/セクターのモメンタムはそれぞれ異なる様相を呈しました。コロナの打撃を最も被ったセクターは公的支援の延長に支えられ、経済は復興計画・メカニズムの実施によって維持されています。こうした状況下、BNPパリバは危機の多様な局面においてレジリエントなビジネスモデルの恩恵を受けており、セールス/マーケティングとも好調です。この要因として、手掛ける事業・地域・セクターを多様化していること、最もレジリエントなセクター/顧客セグメントに重点を置いていること、健康状況の変化に絶えず順応していること等が挙げられます。

当グループ全体の当四半期の営業収益は108億8,500万ユーロでした。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は前年同期比横ばい（-0.1%）、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は同2.1%の増収です。

事業部門の当四半期の営業収益は前年同期比1.7%の増収¹でした。国内市場部門では、専門的金融業務の健闘に加え、リテール・バンキング業務が低金利環境下でも底堅く、0.6%の小幅減²に留めました。国際金融サービス部門では、バンクウェストとアセット・マネジメントの好調をもってしても健康危機の影響を補い切れず、営業収益は前年同期比7.2%の大幅減³でした。ホールセールバンキング（CIB）部門では、2020年上半期の堅調さを維持し、業務部門・地域が全て増収を記録し、前年同期比17.4%の大幅増収を果たしました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.8%

² 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-3.9%



営業費用は、グループ全体で71億3,700万ユーロと前年同期比3.8%減でした。この中には、一時項目として、事業再編費用¹と事業適応費用²（4,400万ユーロ）、IT強化費用（4,000万ユーロ）、健康危機関連の寄付とスタッフ安全対策費用（2,100万ユーロ）が合計1億600万ユーロ含まれています（前年同期は2億5,600万ユーロ）。2020年度事業計画で公表したように、一時項目の事業変革費用はゼロでした（前年同期は1億7,800万ユーロ）。

事業部門の営業費用は前年同期比1.2%減でした。国内市場部門では2.4%減で、特にリテール・バンキング業務³における減少が顕著でした（-3.6%）。この結果、国内市場部門は正のジョーズ効果を達成しました（+1.8ポイント）。国際金融サービス部門の営業費用は、コスト節減策が奏功し、6.4%減⁴でした。CIB部門では好調な事業活動に伴って営業費用が膨らみましたが（+7.2%）、高水準の正のジョーズ効果を生み出しました（+10.2ポイント）。

当グループは、厳格なコスト管理により、3.8ポイントの正のジョーズ効果を達成しました。2020年度事業計画に沿って実施したコスト節減策が効果を発揮し、健康危機関連の影響により増幅されました。

営業総利益はグループ全体で当四半期に37億4,800万ユーロとなり、前年同期比7.9%の増益でした。

リスク費用は12億4,500万ユーロで、前年同期比では3億9,800万ユーロの増加でしたが、前四半期比では2億200万ユーロ改善し、顧客向け融資残高の57bp相当（ほぼサイクル平均）でした。

これらを受けて、当グループの当四半期の営業利益は25億300万ユーロ、前年同期比4.8%の減益でした。

営業外項目は当四半期に1億6,800万ユーロの利益となり、前年同期の1億7,700万ユーロの利益を下回りました。当四半期の営業外項目には、建物2件の売却による譲渡益（+4,100万ユーロ）が反映されています。

税引前利益は当四半期に26億7,100万ユーロとなり（前年同期は28億500万ユーロ）、前年同期比4.8%の減益でした。

当四半期の法人税は6億9,200万ユーロで、前年同期の7億6,700万ユーロを下回りました。

以上から、株主帰属純利益は当四半期に18億9,400万ユーロとなり、前年同期比2.3%の減益でした。なお、一時項目による影響を除くと19億4,000万ユーロ、8.3%の減益です。

普通株式等Tier 1比率は、2020年9月末現在12.6%で、2020年6月末比で20bp上昇しました。この上昇の主な要因は、当四半期純利益の剰余金への繰り入れ（配当性向50%を考慮後、+10bp）、リスクアセットの減少（為替レート変動の影響を除く、+10 bp）です。他の要因の影響は概ね限定的でした。当グループの即時利用可能な剰余資金は4,720億ユーロに上っており、これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味します。レバレッジ比率⁵は4.4%でした。

1株当たり有形純資産額⁶は2020年9月末現在で72.2ユーロに達し、2008年12月末からの年平均成長率は7.2%に相当し、当グループが景気局面を通して継続的に企業価値を創造する能力を有していることを証明しています。

¹ 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の再編に関連

² 特にバンクウェストとCIB部門に関する適応策

³ フランス国内リテール・バンキング、BNLバンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテール・バンキング

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-3.6%

⁵ 欧州委員会規則第2020/873号（第500b条）に基づき算定した比率

⁶ 再評価後。2019年度の剰余金に計上した利益を含む。



当グループはデジタル変革を継続すると共に、内部統制およびコンプライアンス体制の強化も行っています。また、意欲的な社会的責任方針の推進を続けています。例えば、かねてより融資ポートフォリオから生じる温室効果ガスの排出をパリ協定の目標に整合させることに力を入れており、2018年にポーランドのカトヴィツェで開催されたCOP24において欧州主要4行と共にこの整合化を実現するための具体的な共通手法の開発で合意し、気候変動移行リスク評価ツール(PACTA)の利用に関する初の共同レポートを発表しています。当グループのこの分野における活動は高く評価されています。2020年、EcoActは気候変動対策・行動の点で、BNPパリバをフランスの主要株価指数CAC40上場40社の中で首位と位置づけました。また、ユーロマネー誌は、BNPパリバのマイクロファイナンスに対する支援や包摂的(インクルーシブ)な商品・サービスを評価し「World's Best Bank for Financial Inclusion」に選出しています。さらに、2020年7月、当グループは多様性と包摂性に関する取り決めに署名し、国籍の多様性容認、差別との戦い、職場の男女平等、段階的な退職メカニズム等を誓約しています。

当グループは、地域別の実情や規制に従い、事業を展開している全地域の業務活動を健康状況に見合うよう適応させ続けています。このため、徹底的な健康措置を講じ、経済機能維持に不可欠なサービスを全面的に提供しつつ従業員の健康も守るべく、リモート勤務が適する事業活動については、その利用を促進する等の体制を採り入れています。

2020年度第3四半期累計期間(1-9月)において、当グループの営業収益は334億4,800万ユーロに上り、前年同期比0.6%の増収となりました。

事業部門の営業収益は前年同期比1.3%の増収¹でした。国内市場部門²では、リテール・バンキング業務が底堅い成果を収めたものの、低金利環境や健康危機がマイナス影響を及ぼし、融資残高の増加や専門的金融業務(特にドイツのConsorsbank)の伸び拡大による増収効果では補い切れず、2.3%の減収でした。国際金融サービス部門では、低金利環境がリテール・バンキング業務に及ぼした影響、健康危機による事業活動の落ち込み、金融市場下落の影響(とりわけ保険部門)があり、6.0%の減収³でした。CIB部門では、3事業が全て増収を記録し、16.4%増を果たしました。

営業費用は、グループ全体で226億3,200万ユーロと前年同期比2.9%減少しました。この中には、一時項目として、事業再編費用⁴と事業適応費用⁵(1億2,000万ユーロ)、IT強化費用(1億1,900万ユーロ)、健康危機関連の寄付とスタッフ安全対策費用(1億700万ユーロ)が合計3億4,600万ユーロ含まれています(前年同期は7億9,700万ユーロ)。2020年度事業計画で公表したように、事業変革費用はゼロでした(前年同期は5億6,800万ユーロ)。

事業部門の営業費用は前年同期比0.4%減でした。国内市場部門では、リテール・バンキング業務⁶で比較的顕著に減少(-2.8%)したことが奏功し、専門的金融業務の事業開発関連のコスト増を補い、全体では1.8%減少しました。国際金融サービス部門では、コスト節減計画の進展により2.9%減少し⁷、CIB部門では事業開発に伴って4.6%増加しました。

ジョーズ効果は正でした(+3.5ポイント)。特に2020年度事業計画の下で開始されたコスト節減策の実施・拡大が寄与しました。

営業総利益はグループ全体で108億1,600万ユーロとなり、前年同期比8.6%の増益でした(前年同期は99億5,900万ユーロ)。事業部門の営業総利益は前年同期比4.5%増でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.5%

² 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む(PEL/CELの影響を除く)

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-4.1%

⁴ 特に特定の事業(とりわけCIB部門)の再編に関連

⁵ 特にバンクウェストとCIB部門に関連

⁶ フランス国内リテール・バンキング、BNLバンカ・コメルシアレ(BNL bc)、ベルギー国内リテール・バンキング

⁷ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-1.7%



リスク費用は41億1,800万ユーロ（顧客向け融資残高の63bp相当）、前年同期比18億8,100万ユーロ増加しました。費用増は特に健康危機関連の予想損失事前引当の影響を反映しています。

これらを受けて、グループ全体の当第3四半期累計期間の営業利益は66億9,800万ユーロとなり、前年同期（77億2,200万ユーロ）と比べ13.3%の減益でした。事業部門の営業利益は前年同期比15.2%減でした。

営業外項目は、当第3四半期累計期間に8億9,400万ユーロの利益となり、前年同期の11億4,300万ユーロの利益を下回りました。当第3四半期累計期間の営業外項目には、複数の建物売却による譲渡益（+5億600万ユーロ）が反映されています。ちなみに、前年同期の営業外項目には、一時項目として、インドのSBI Life持分16.8%売却による譲渡益および残部の連結範囲からの除外による影響（+14億5,000万ユーロ）、のれんの減損損失（-8億1,800万ユーロ）が含まれていました。

税引前利益は当第3四半期累計期間に75億9,200万ユーロとなり、前年同期（88億6,500万ユーロ）と比べ14.4%の減益でした。

当第3四半期累計期間の法人税率は平均25.6%で、前年同期の24.2%を上回りました。前年同期は、SBI Life株の譲渡益に適用された長期投資に関わる軽減税率の恩恵を受けました。

以上から、グループ全体の株主帰属純利益は当第3四半期累計期間に54億7,500万ユーロとなり、前年同期比13.4%の減益でした。なお、一時項目による影響を除くと53億7,700万ユーロ、15.0%減です。

有形自己資本利益率（ROTE）は当第3四半期累計期間に年率8.2%（再評価前¹）となり、業績の底堅さを反映しました。健康危機に見舞われた厳しい環境ながら、当グループの多角的かつ統合的なビジネスモデルの盤石さが貢献しています。

*
* *

¹ 2019年度の剰余金に計上した利益を含む

リテール・バンキング&サービス事業

国内市場部門

国内市場部門の事業活動は第3四半期に高いレジリエンスを示し、商業活動の回復を果たしました。同部門は健康危機下にあるお客様の支援のため結集を続けており、例えば政府保証融資を特にフランスやイタリアを中心に行っています。融資残高は前年同期比**6.3%**増え、業務全てで増加しました。ローン組成の伸びは高く、特に個人顧客向けは目覚ましく、アルバルの貸出は力強い回復を達成しました。預金残高は顧客セグメント全てで伸びを示し、前年同期比**13.3%**増加しました。プライベート・バンキング業務では高水準の資金純流入が見られ（**22億ユーロ超**）、欧州域外からの資金流入が旺盛でした（**+19億ユーロ**）。

デジタルツールの利用は加速を続け、モバイルアプリをアクティブに利用する顧客¹は1年間で**22.2%**増え（**580万人**へ）、接続回数は前年同期比**35.8%**増加して1日当たり**400万回**近傍に上っています。Hello bank!の顧客数は**8.1%**増え、**290万人**に迫りました²。

営業収益³は当四半期に**38億6,700万ユーロ**となり、前年同期比で小幅な減収に留まりました（**-0.6%**）。低金利環境による影響は生じたものの、専門的金融業務が好調で（特に個人投資家部門。ドイツの**Consorsbank**の力強い伸びが寄与し、前年同期比**26.3%**増）、その上、リテール・バンキング業務の営業収益も堅調でした。

営業費用³は当四半期に**25億4,300万ユーロ**となり、前年同期比**2.4%**減でした。専門的金融業務の伸びに伴う費用増（**+2.7%**）があったものの、リテール・バンキング業務⁴で比較的顕著に減少し（**-3.6%**）、**1.8ポイント**の正のジョーズ効果を生み出しました。

これらを受けて、営業総利益³は当四半期に**13億2,400万ユーロ**となり、前年同期比**3.0%**増でした。

リスク費用³は当四半期は**3億5,300万ユーロ**で（前年同期は**2億4,500万ユーロ**）、フランスでの特定の債権の影響も費用増につながりました。

以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益⁵は当四半期に**9億2,200万ユーロ**となり、前年同期比**5.4%**の減益でした。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益³は、**115億100万ユーロ**となり、前年同期比**2.3%**の減収でした。低金利環境と健康危機の影響が響き、融資残高の増加や専門的金融業務の力強い事業活動（特にドイツの**Consorsbank**）による増収効果では補えませんでした。営業費用³は**79億5,800万ユーロ**、前年同期比**1.8%**減でした。特にリテール・バンキング業務⁴の費用減が比較的顕著で（**-2.8%**）、専門的金融業務では事業の伸びに伴って小幅なコスト増が生じました。営業総利益³は**35億4,300万ユーロ**、前年同期比**3.5%**の減益でした。リスク費用³は**9億9,800万ユーロ**で（前年同期は**7億6,700万ユーロ**）、特に予想損失の事前引当の影響が含まれています。以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益⁶は当第3四半期累計期間に**23億8,100万ユーロ**となり、前年同期比**12.0%**の減益でした。

¹ モバイルアプリに月1回以上接続した顧客（2020年度第3四半期の平均）。範囲は国内市場部門のリテール・バンキング支店またはデジタルバンクの個人顧客、法人顧客、プライベート・バンキング顧客（ドイツ、オーストリア、Nickelを含む）。

² イタリアを除く

³ フランス（PEL/CELの影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの100%を含む

⁴ フランス国内リテール・バンキング、BNLパンカ・コメルシアーレ（BNL bc）、ベルギー国内リテール・バンキング

⁵ PEL/CELの影響を除く：2020年度第3四半期は+100万ユーロ；2019年度第3四半期は-1,000万ユーロ

⁶ PEL/CELの影響を除く：2020年度第3四半期累計期間は+300万ユーロ；2019年度第3四半期累計期間は+2,100万ユーロ



フランス国内リテール・バンキング (FRB)

FRBは好調な事業活動を維持しました。融資残高は、住宅ローンと法人向け貸出の増加が寄与し、政府保証融資を除いても前年同期比**10.8%**増でした。返済猶予期間を終えたローンの返済再開は満足のいく水準で、予想通りでした。預金残高は前年同期比**20.6%**増でした。プライベート・バンキングの運用資産は**2.6%**増え、責任預金 (responsible savings) は2020年9月末に**65億**ユーロへ急増しました (2019年12月末比**+63%**)。

デジタルツールの利用は急拡大を続け、モバイルアプリをアクティブに使用する顧客¹は**260万人**に達しました (2019年9月末比**+19%**)。リモート接客は急増し、プライベート・バンキングの予約数の半分以上を占めました (2019年9月末比**+78%**)。

営業収益²は当四半期に**14億9,600万**ユーロとなり、前年同期比**4.6%**の減収でした。純利息収入²は、低金利環境の影響に加え、専門的金融業務を手掛ける子会社からの寄与が低下し、融資残高の増加や利鞘の拡大 (特に住宅ローン) による増収効果では完全には補えず、**5.5%**減でした。手数料収入²は**3.3%**減で、主に健康危機の影響が響きました。

営業費用²は、推進中のコスト最適化策が奏功し、**11億2,500万**ユーロと前年同期比**3.2%**減でした。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に**3億7,100万**ユーロとなり、前年同期比**8.4%**の減益でした。

リスク費用²は、主に当四半期中の特定の債権の影響により**1億3,700万**ユーロ (前年同期比**6,100万**ユーロの増加)、顧客向け融資残高の**27bp**相当でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務 (国際金融サービス部門) へ配分した後、FRBの税引前利益³は当四半期に**2億300万**ユーロとなり、前年同期比**29.9%**の減益でした。

2020年度第3四半期累計期間 (1-9月) において、FRBの営業収益²は44億2,800万ユーロとなり、前年同期比7.0%減でした。純利息収入²は9.4%の減少でした。専門的金融業務を手掛ける子会社からの寄与が低下し、また、低金利環境の影響もあり、融資残高の増加や利鞘の拡大では補えませんでした。手数料収入²は3.7%減でした。金融手数料は急増したものの、健康危機の影響によりキャッシュマネジメント手数料と決済手数料が大幅に減少し、相殺されました。営業費用²は33億6,500万ユーロで、コスト最適化策が奏功し、前年同期比2.5%減でした。これらを受けて、営業総利益²は10億6,400万ユーロとなり、前年同期に比べ18.8%減少しました。リスク費用²は3億2,700万ユーロで、主に健康危機に伴う予想損失事前引当と当四半期中の特定の債権の影響により前年同期比で9,700万ユーロ増加し、顧客向け融資残高の22bp相当でした。以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1**をウェルス・マネジメント業務 (国際金融サービス部門) へ配分した後、FRBの税引前利益⁴は当第3四半期累計期間に**6億3,700万**ユーロとなり、前年同期比**34.2%**の減益でした。**

¹ 個人顧客 (Hello bank!を含む)、法人顧客、プライベート・バンキング顧客で、モバイルアプリに月1回以上接続した顧客 (2020年度第3四半期の平均)

² フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む (PEL/CELの影響を除く)

³ PEL/CELの影響を除く: 2020年度第3四半期は+100万ユーロ; 2019年度第3四半期は-1,000万ユーロ

⁴ PEL/CELの影響を除く: 2020年度第3四半期累計期間は+300万ユーロ; 2019年度第3四半期累計期間は+2,100万ユーロ

**BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)**

BNL bcの当四半期の事業活動は上向き続けました。融資残高は前年同期比3.4%増¹、不良債権を除くと6%以上増加しました。住宅ローンと法人向け貸出の残高増加が寄与しました。BNL bcは法人顧客の市場シェアを着実に高め続けており（3年間で0.8ポイント引き上げ、6.2%²）、堅実なリスクプロファイルも維持しています。預金残高は前年同期比15.6%増でした。プライベート・バンキング業務では、10億ユーロを超える資金純流入を達成しました。オフバランス貯蓄商品は2019年9月末比で1.1%増加し、貯蓄型生命保険の伸びが貢献しました（前年同期比+2.3%）。

BNL bcは、健康危機の状況下、結集を続け、21,000社近い企業を支援しました。イタリア政府やイタリア外国貿易保険（SACE）³が保証する融資を実行し、融資額は2020年9月末時点で26億ユーロに達しました。

デジタルツールの利用は増え続けており、モバイルアプリをアクティブに利用する顧客⁴は80万人近くに上っています（2019年9月末比+34.2%）。

営業収益⁵は当四半期に6億6,900万ユーロに上り、前年同期比1.0%の増収でした。純利息収入⁵は3.9%増でした。低金利環境によるマイナス影響はあったものの、融資残高の増加によるプラス効果が勝りました。手数料収入⁵は、取引件数の減少に伴う金融手数料の落ち込みが響き、前年同期比3.4%の減収でした。

営業費用⁵は当四半期は4億2,600万ユーロと前年同期比4.6%減少しました。この費用減は、コスト節減策や事業適応策（イタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度）の効果を反映しており、5.6ポイントの高いジョーズ効果を生み出しました。

これらを受けて、営業総利益⁵は当四半期に2億4,400万ユーロとなり、前年同期比12.5%の増益でした。

リスク費用⁵は1億2,200万ユーロ、前年同期比11.8%増、顧客向け融資残高の63bp相当でした。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当四半期に1億1,500万ユーロに上り、前年同期比16.7%の増益でした。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、BNL bcの営業収益⁵は19億7,700万ユーロ、前年同期比2.2%の減収でした。純利息収入⁵は、低金利環境のマイナス影響に加え、より有利なリスクプロファイルを伴う顧客へのシフトもあり、融資残高の増加による増収効果では補えず、1.4%減でした。手数料収入⁵は、取引件数の減少に伴う金融手数料の落ち込みが特に響き、前年同期比3.5%の減収でした。営業費用⁵は13億1,300万ユーロ、前年同期比2.7%減でした。この費用減は、コスト節減策や事業適応策（例えばイタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度）の効果を反映しており、正のジョーズ効果を生み出しました（+0.5ポイント）。これらを受けて、営業総利益⁵は6億6,500万ユーロ、前年同期比1.3%減でした。リスク費用⁵は3億6,400万ユーロで、健康危機関連の予想損失事前引当の影響にもかかわらず、前年同期比で改善し（-4.5%）、顧客向け融資残高の64bp相当でした。以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当第3四半期累計期間に2億7,300万ユーロとなり、前年同期比4.5%の増益でした。

¹ 融資残高は日次平均残高

² 出所：イタリア銀行協会

³ イタリア外国貿易保険（SACE）：イタリア政府が全額出資する輸出信用保険機関

⁴ 個人顧客（Hello bank!を含む）、法人顧客、プライベート・バンキング顧客で、モバイルアプリに月1回以上接続した顧客（2020年度第3四半期の平均）

⁵ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む

ベルギー国内リテール・バンキング (BRB)

BRBは好調でした。融資残高は主に住宅ローンの高い伸びが寄与し、前年同期比**2.5%**増加しました。預金残高は個人預金の力強い伸びに支えられ、**4.5%**増でした。オフバランス貯蓄商品は、特にミューチュアルファンドへの高水準の資金純流入(+16億ユーロ)が寄与し、**2019年9月末比で1.6%**増加しています。カード決済数は経済活動の回復を反映し、過去の水準を上回りました。

デジタルツールの利用は加速を続け、モバイルアプリをアクティブに利用する顧客¹は**150万人**に迫り(前年同期比**+12.1%**)、接続回数は当四半期に月平均**4,000万回**を超えました(前年同期比**+29.4%**)。

営業収益²は当四半期に**8億5,100万ユーロ**となり、前年同期比**0.3%**の小幅な減収となりました。純利息収入²は**2.8%**減でした。低金利環境のマイナス影響があり、融資残高の増加による増収効果では補えませんでした。手数料収入²は、金融手数料の伸びが堅調で、前年同期比**6.9%**の増収でした。

営業費用²は、コスト節減策のほか、支店網の最適化策の継続も奏功し、当四半期は**5億2,300万ユーロ**と前年同期比**3.4%**減でした。**3.1ポイント**の正のジョーズ効果が生み出されました。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に**3億2,900万ユーロ**に上り、前年同期比**5.1%**の増益でした。

リスク費用²は当四半期は**2,900万ユーロ**、顧客向け融資残高の**10bp**相当でした(前年同期は**2,000万ユーロ**)。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務(国際金融サービス部門)へ配分した後、BRBの税引前利益は当四半期に**2億9,300万ユーロ**となり、前年同期比**4.4%**増でした。

2020年度第3四半期累計期間(1-9月)において、BRBの営業収益²は**25億7,100万ユーロ**、前年同期比**2.8%**の減収でした。純利息収入²は、低金利環境のマイナス影響を融資残高の増加によるプラス効果では補い切れず、前年同期比**6.5%**減でした。手数料収入²は健康危機の影響にもかかわらず、前年同期比**7.7%**の増収でした。営業費用²は、コスト節減策のほか、支店網の最適化策の継続も奏功し、**18億5,200万ユーロ**と前年同期比**3.6%**減でした。これらを受けて、営業総利益²は**7億1,900万ユーロ**となり、前年同期比**1.0%**減でした。リスク費用²は**1億6,200万ユーロ**でした(前年同期は**5,100万ユーロ**)。この費用増の要因は、主に健康危機関連の予想損失の事前引当と第2四半期の特定の債権でした。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務(国際金融サービス部門)へ配分した後、BRBの税引前利益は当第3四半期累計期間に**5億3,200万ユーロ**となり、前年同期比**15.1%**減でした。

¹ 個人顧客(Hello bank!を含む)、法人顧客、プライベート・バンキング顧客で、モバイルアプリに月1回以上接続した顧客(2020年度第3四半期の平均)

² ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む

その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickel、ルクセンブルク国内リテール・バンキング）

国内市場部門の専門的金融業務では事業活動が好調でした。アルバルではモメンタムが良好で、ファイナンスフリートの契約台数は当四半期に前年同期比7.0%増え、受注も7.0%増加し、中古車価格は堅調さを維持しました。リーシング・ソリューションズでは、ファイナンスリース残高が前年同期比1.1%増加¹し、2020年9月の組成は前年同月を大きく上回りました（+15%）。個人投資家部門は市場の活発な動きを背景に極めて好調で、取引注文数は急増し（前年同期比+68.5%）、運用資産残高も2019年9月末の水準から10.3%増加しました。Nickelは躍進を続け、口座開設数は180万口座に迫り²（2019年9月末比+27.2%）、2020年9月には新規口座開設数が月次記録を更新しました（40,895口座）。ルクセンブルク国内リテール・バンキング（LRB）では、個人顧客向けと法人顧客向けの双方で貸出に底堅さが戻りました。融資残高は前年同期比6.5%増、住宅ローンと法人向け貸出の伸びが好調でした。預金残高は、特に個人顧客から資金が流入し、3.4%増でした。

これら5つの業務部門合計の営業収益³は当四半期に8億5,000万ユーロに上り、前年同期比5.2%増加しました。増収はいずれの業務部門でも事業開発が順調だった結果であり、特に個人投資家部門の営業収益の伸びは当四半期も極めて力強く、とりわけドイツのConsorsbankが堅調でした。

営業費用³は当四半期は4億6,900万ユーロ、前年同期比2.7%増でしたが（コスト節減策で抑制しましたが、事業活動が高水準で嵩みました）、2.5ポイントの正のジョーズ効果を生み出しました。

リスク費用³は当四半期は合計6,600万ユーロでした（前年同期は4,100万ユーロ）。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら5つの業務部門の税引前利益は当四半期に3億1,100万ユーロに達し、前年同期比1.7%の増益でした。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、5つの業務部門の営業収益³は25億2,500万ユーロに上り、全体として前年同期比7.4%の増収でした。いずれの業務部門も事業活動が高水準で、特にNickelと個人投資家部門（とりわけドイツのConsorsbank）が好調でした。営業費用³は14億2,900万ユーロ、前年同期比3.0%増でしたが（コスト節減策で抑制しましたが、事業開発費用が嵩みました）、4.4ポイントの正のジョーズ効果を生み出しました。リスク費用³は総額1億4,400万ユーロでした（前年同期は1億400万ユーロ）。以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら5つの業務部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に9億3,900万ユーロとなり、前年同期比10.7%の増益を果たしました。

*
* *

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、子会社の移管を除く

² 設定来

³ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門のセールス/マーケティング活動は、前四半期後半以降、好調さを取り戻しています。融資残高は、上半期の健康危機の影響にもかかわらず、前年同期比**0.2%**の小幅増¹でした。特にパーソナル・ファイナンスの残高が当四半期後半に増加し、とりわけ自動車ローン組成の力強い回復が寄与しました。国際リテール・バンキング業務の融資残高は前年同期比**1.5%**増¹でした。当部門への資金純流入は堅調で、**2019年9月末比で196億ユーロ増**でした。一方、不動産管理部門は健康危機の影響を大きく受け続けていますが、徐々に復調しています。

当四半期に返済猶予期間を終えたローンの返済再開は満足のいく水準で、予想通りでした。

国際金融サービス部門はデジタル化の推進を続けています。国際リテール・バンキング業務ではデジタル顧客が**440万人**に上り、融資契約の**72%**以上で電子署名が行われており、また、パーソナル・ファイナンス業務では**3,000万通**を超える電子口座取引月次明細書が顧客に送信されています。

国際金融サービス部門の当四半期の営業収益は**39億4,300万ユーロ**、前年同期比**7.2%**減²でした。低金利環境がウェルス・マネジメント部門と欧州・地中海沿岸諸国部門にマイナス影響を及ぼし、また、第2四半期の健康危機が他の事業に及ぼした余波が長引き、バンクウェストとアセット・マネジメント部門の好調さでは補えませんでした。

営業費用は、継続的なコスト節減策や事業効率の向上が奏功し、当四半期は**23億8,200万ユーロ**、前年同期比**6.4%**減³でした。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に**15億6,100万ユーロ**となり、前年同期比**8.4%**減少しました。

リスク費用は**5億9,200万ユーロ**で、前年同期に比べて**7,400万ユーロ**増加しました。

以上から、国際金融サービス部門の当四半期の税引前利益は**10億6,700万ユーロ**となり、前年同期比**18.2%**減少しました。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、国際金融サービス部門の営業収益は**120億2,300万ユーロ**となり、前年同期比**6.0%**の減収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**-4.1%**）。バンクウェストの営業収益は堅調で、パーソナル・ファイナンスの営業収益も健康危機の影響をよそに底堅さを見せた一方、欧州・地中海沿岸諸国部門とウェルス・マネジメント部門では低金利環境が減収を招き、アセット・マネジメント部門と保険部門の営業収益は金融市場下落の余波を受け、不動産管理部門の営業収益も健康危機のマイナス影響を被りました。営業費用は、コスト節減計画の推進が寄与し、**75億6,200万ユーロ**と**2.9%**減でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**-1.7%**）。これらを受けて、営業総利益は**44億6,100万ユーロ**となり、前年同期比**10.8%**減少しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**-7.9%**）。リスク費用は**20億9,700万ユーロ**で、主に予想損失の事前引当により、前年同期と比べて**7億6,000万ユーロ**増加しました。以上から、国際金融サービス部門の当第3四半期累計期間の税引前利益は**26億6,200万ユーロ**となり、前年同期比**33.9%**減でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**-31.2%**）。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**-3.9%**

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**-3.6%**

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンス事業では、自動車ローンの力強い回復により8~9月のローン組成が前年水準近くに戻り、底堅さを裏付けました。この結果、融資残高は当四半期後半に増加に転じました。ただし、上半期に健康危機の煽りで店舗を閉鎖し、ローン組成が減少したため、融資残高は前年同期をなお2.5%下回っています。

パーソナル・ファイナンスで返済を猶予していたローンについては、お客様に対する積極的支援を通じて効果的に対処し、融資契約を個別に見直して返済再開水準の最適化を行いました。返済猶予期間を終えたローンの返済再開は満足のいく水準で、予想通りでした。

また、パーソナル・ファイナンスのリスクプロファイルには商品構成の改善効果が出ており、近年、リスク低減方向に変化しています。この推進により、クレジットカードポートフォリオが占める比率は2016年の18%から当四半期には12%へ低下し、自動車ローンポートフォリオの比率は同期間に20%から37%へ上昇しています。地域別のポートフォリオについては、欧州大陸に集中させ、米国のエクスポージャーはゼロに引き下げ、英国は7%に留め、主体は自動車ローンとしています。

パーソナル・ファイナンスの営業収益は、当四半期は13億4,300万ユーロとなり、前年同期比7.0%減でした。前四半期にローン組成が落ち込み、融資残高が減少した結果です。

営業費用は6億4,100万ユーロで、コスト節減の取り組み継続が奏功し、前年同期比3.5%減でした。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に7億300万ユーロとなり、前年同期比10.0%の減益でした。

リスク費用は当四半期は3億8,300万ユーロで（融資残高の165bp相当）、前年同期を1,700万ユーロ上回りましたが、前四半期を6,700万ユーロ下回りました。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期に3億1,500万ユーロとなり、前年同期比27.4%の減益、前四半期比50.1%の増益でした。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、パーソナル・ファイナンスの営業収益は41億2,000万ユーロとなり、前年同期比4.4%の減収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-1.7%）。特に健康危機の影響で上半期にローン組成が落ち込み、融資残高が減少したことが響きました。営業費用は、コスト節減の取り組み継続が奏功し、20億6,900万ユーロと前年同期比3.1%減でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-1.1%）。これらを受けて、営業総利益は20億5,100万ユーロ、前年同期比5.7%の減益でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-2.2%）。リスク費用は、主に予想損失の事前引当の影響により前年同期比4億3,100万ユーロ増え、14億1,500万ユーロでした。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当第3四半期累計期間に6億3,900万ユーロとなり、前年同期比48.0%減少しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-45.8%）。



欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門は、活気に欠ける環境にありながら高水準の事業活動を達成しました。融資残高は前年同期比**3.4%増¹**でした。ローン組成は回復を続け、例えばポーランドでは個人顧客向けローン組成が急増しました（**2020年9月は前年同月比+33%¹**）。預金残高は前年同期比**14.5%増¹**、各国とも増加しました。一方、返済猶予期間を当四半期に終えたローンの返済再開は満足のいく水準で、予想通りでした。

欧州・地中海沿岸諸国部門ではデジタルツールの利用促進を継続しており、デジタル顧客は**2020年9月末時点で350万人**でした（**2019年9月末比+27%**）。自動化の加速は事業効率の向上機会を招いており、自動化した処理数は上半期に**45%増加**しました。このデジタル分野の専門性は「Global Finance in 2020」で認められ、「Best Consumer Digital Bank in Turkey」を授与されました。

欧州・地中海沿岸諸国部門の営業収益²は、当四半期に**5億6,100万ユーロ**となり、前年同期比で**7.1%減少¹**しました。低金利環境の影響や複数諸国の手数料上限の実施が収益を抑制し、為替換算の効果も当四半期は不利でした（トルコリラが大幅下落）。

営業費用²は当四半期に**4億500万ユーロ**となり、前年同期比**1.5%減¹**でした。ポーランドでのコストシナジーの実現やコロナ危機関連のコスト節減策が奏功しました。賃金ドリフトは特にトルコで高水準でした。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に**1億5,600万ユーロ**となり、前年同期比**19.0%減¹**でした。

リスク費用²は当四半期は**1億1,300万ユーロ**となり、前年同期比では横ばい、前四半期比では**3,000万ユーロの減少**でした。

以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に**9,100万ユーロ**となりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は前年同期比**33.3%減**、一方、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は為替の不利な影響により同**38.8%減**でした。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、欧州・地中海沿岸諸国部門の営業収益²は**18億3,500万ユーロ**、前年同期比**2.5%の減収¹**でした。特に低金利環境の影響や複数諸国の手数料上限が重石となり、融資残高の増加では補えませんでした。営業費用²は**13億900万ユーロ**で、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は前年同期比**1.9%の増加**、一方、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は、ポーランドにおけるコストシナジーの実現が貢献し、トルコにおける高水準の賃金ドリフトの継続やトルコリラの大幅下落を相殺し、同**2.3%の減少**でした。リスク費用²は、主に予想損失の事前引当の影響により、**3億4,200万ユーロ**（前年同期比**19.8%増**）、顧客向け融資残高の**113bp**相当でした。以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に**3億1,400万ユーロ**となり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は前年同期比**30.0%の減益**、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は同**40.9%の減益**でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの100%を含む



バンクウエスト

バンクウエストのセールス/マーケティング活動は当四半期も好調を維持しました。融資残高は前年同期比**0.3%**の小幅増¹でした。ローン組成の水準は高く、特に有担保設備ローン²の組成が活発でした（前年同期比**+54%**）。バンクウエストは米国連邦政府の中小企業支援策「ペイチェック・プロテクション・プログラム（PPP）」に積極的に参画しており、**2020年9月末時点で18,000件**近い融資、総額約**30億ドル**を実行しています。預金残高は**20.8%**増³、顧客預金⁴が大幅に伸びました（**+24.9%**）。プライベート・バンキング業務の運用資産残高は**2020年9月末時点で160億ドル**に達し、**2019年9月末比で5.0%**増加¹しました。また、オンラインでの口座開設数も前年同期比**23.4%**増加したほか、ホールセールバンキング（CIB）部門との協働を続け、企業財務に関するソリューション提供を連携して行う基盤を構築し、**2020年9月末時点で52案件**を共同で実施しています（**2019年9月末比+13%**）。

営業収益⁵は当四半期に**6億2,700万ユーロ**となり、前年同期比**9.6%**の増収³でした。低金利環境の影響と手数料収入の寄与低下は生じたものの、主に融資残高の伸びによる増収効果と非経常的項目のプラス寄与が上回りました。

営業費用⁵は、コスト節減策が奏功し、**4億300万ユーロ**となり（前年同期比**2.3%**減³）、**11.9**ポイントの正のジョーズ効果を生み出しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合）。

これらを受けて、営業総利益⁵は当四半期に**2億2,400万ユーロ**となり、前年同期比**40.3%**の増益³でした。

リスク費用⁵は**9,000万ユーロ**で、前年同期に比べ**4,700万ユーロ**の増加、顧客向け融資残高の**63bp**相当でした。前四半期比では**7,700万ユーロ**の減少です。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益は当四半期に**1億3,000万ユーロ**となりました。前年同期比は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は**15.2%**増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は**9.0%**増でした。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、バンクウエストの営業収益⁵は**18億6,600万ユーロ**、前年同期比**5.3%**の増収³でした。低金利環境の影響と手数料収入の寄与低下は生じたものの、特に融資残高の増加による増収効果が上回りました。営業費用⁵は、コスト節減策が奏功し、**13億ユーロ**に留まり（**1.0%**減³）、**6.3**ポイントの正のジョーズ効果を生み出しました。これらを受けて、営業総利益⁵は**5億6,700万ユーロ**、前年同期比**23.3%**の増益³でした。リスク費用⁵は、主に予想損失の事前引当を反映し、前年同期比で大幅に増え（**+2億5,500万ユーロ**）、**3億1,900万ユーロ**（顧客向け融資残高の**75bp**相当）でした。以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益は当第3四半期累計期間に**2億3,000万ユーロ**となり、前年同期比**37.3%**減³でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除き、子会社の移管を含む

² レジャー用のビークルやボート

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁴ 財務活動に関わる預金を除く

⁵ 米国プライベート・バンキングの100%を含む



保険およびウェルス&アセット・マネジメント

保険およびウェルス&アセット・マネジメント部門は、旺盛な資金純流入を背景に事業活動が好調でした。運用資産残高¹は2020年9月末現在で1兆1,100億ユーロ、2019年12月末比1.2%減でした。この減少要因は2020年度第1四半期の金融市場急落に伴うバリュエーション面の不利な影響（250億ユーロ。第2-第3四半期の市況回復により軽減）と為替面の不利な影響（174億ユーロ）です。資金純流入は当第3四半期累計期間に304億ユーロと堅調でした。ウェルス・マネジメント部門では欧州・アジアで高水準の資金純流入があり、アセット・マネジメント部門では短期（マネー・マーケット）ファンドと中長期ファンドの双方で旺盛な資金純流入を記録し、保険部門では運用資産が小幅減少し、流入資金の相当部分がユニットリンク保険に向かいました（40%以上）。

2020年9月末現在、運用資産残高¹の部門別内訳は以下の通りでした：アセット・マネジメントは4,740億ユーロ（Real Estate Investment Managementの290億ユーロを含む）、ウェルス・マネジメントは3,800億ユーロ、保険部門は2,560億ユーロ。

保険部門はレジリエンスを示し、事業開発を続けました。保障保険の販売はフランスやアジアで好調で、フランスではBNPパリバ・カードィフの保険ブランド「Cardif Libertes Emprunteur」の開発が奏功し、返済保障保険事業がさらに拡大しています。

保険部門の営業収益は当四半期に6億9,700万ユーロとなり、前年同期比8.4%の減収でした。運用成績は前年同期に比べてキャピタル・ゲインが少なかったことを主因として悪化し、保険事業の支払請求は健康危機や期中に生じたフランスの特定の請求により増加しました。営業費用は、事業開発の推進で嵩んだものの厳格なコスト抑制が寄与し、3億4,700万ユーロ（6.4%減）に留まりました。税引前利益は当四半期は3億8,400万ユーロ、前年同期比11.0%の減益でした。

ウェルス&アセット・マネジメント部門は発展計画を継続しました。ウェルス・マネジメント部門はPrivate Banker International 社から9年連続で「Outstanding Global Private Bank」に選出されました。資金純流入は高水準で、特にアジアと国内市場部門（とりわけイタリア）からの資金流入が旺盛でした。アセット・マネジメント部門の事業活動は目覚ましく回復し、特に資金純流入が堅調で、当四半期に140億ユーロに上りました。このうち80億ユーロはマネー・マーケット・ファンド（特に欧州）、60億ユーロは中長期ファンド（特に中南米とアジア）への流入でした。

一方、不動産管理部門は健康危機の影響を強く被り続けましたが、アドバイザー業務、建設工事、不動産開発・販売の再開に伴い、徐々に回復しました。

ウェルス&アセット・マネジメント部門の営業収益は、当四半期に7億3,400万ユーロとなり、前年同期比8.6%の減収でした。この要因は、ウェルス・マネジメント部門では低金利環境が純利息収入に及ぼした影響、不動産管理部門では健康危機が事業に及ぼした打撃で、アセット・マネジメント部門で市場のバリュエーションが有利に作用した増収効果では補えませんでした。営業費用は、当四半期は合計5億9,800万ユーロ、前年同期比8.0%減で、不動産管理部門の経費急減に加え、事業変革計画の効果（特にアセット・マネジメント部門）から恩恵を受けました。以上から、国内市場部門、トルコ、ポーランド、および米国からプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメント部門の税引前利益は当四半期に1億4,600万ユーロとなり、前年同期比14.1%の減益でした。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、保険部門の営業収益は21億400万ユーロ、前年同期比12.8%減でした。この要因には金融市場の下落に伴う会計上の不利な影響に加え、健康危機や当四半期に生じたフランスの特定の債権に関連する支払請求の影響も含まれます。営業費用は、事業開発の推進で嵩んだものの厳格なコスト抑制が寄与し、10億7,800万ユーロ（3.7%減）に留まりました。以上から、保険部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に11億2,900万ユーロとなり、前年同期比20.1%減でした。

¹ 分配金を含む



ウェルス&アセット・マネジメント部門の当第3四半期累計期間の営業収益は21億5,500万ユーロ、前年同期比8.8%の減収でした。ウェルス・マネジメント部門では低金利環境のマイナス影響を手数料収入の増加では補えず、アセット・マネジメント部門では市場の影響が全体的にやや不利に働き、不動産管理部門では健康危機が強い打撃となりました。営業費用は18億4,100万ユーロ（前年同期比4.2%減）で、事業変革計画の効果（特にアセット・マネジメント部門）に加え、不動産管理部門の経費減も寄与しました。以上から、国内市場部門、トルコ、ポーランド、および米国からプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメント部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に3億5,000万ユーロとなり、前年同期比26.9%の減益でした。

*
* *

ホールセールバンキング (CIB) 部門

当四半期のCIB部門は顧客セグメント全てで好業績を達成しました。

セールス/マーケティング活動はCIBの3部門全てで好調でした。6月以降、企業はバランスシート強化のため、資金調達方法をシンジケートローンから債券・株式発行へシフトしています。市場の動きは2020年上半期の異例の環境を経て正常化し、金利・為替市場では顧客取引が活発で、株式デリバティブのパフォーマンスは堅調でした。証券管理部門の事業活動は高水準で、引き続き多数の案件を手掛けました。

顧客リレーションの強化は全地域で継続しました。このため、商業的体制を活用し、発展計画（特に欧州：ドイツ、英国、オランダ、北欧諸国）と部門間協力により後押しを行いました。

CIB部門の営業収益は、当四半期は33億7,200万ユーロと大幅増収を果たしました（前年同期比+17.4%）。営業収益は3部門全てで増加しています。

コーポレート・バンキング部門の営業収益は、当四半期は11億1,800万ユーロで、前年同期比7.5%増でした。営業収益は全地域で増え、中でも米州と欧州が堅調でした。ただし、トランザクションバンキング業務はトレードファイナンス案件減少の影響を被りました。

コーポレート・バンキング部門はEMEA地域¹のシンジケートローンと欧州の社債発行でトップの座を占めています²。また、EMEA地域の投資銀行業務で首位の欧州プレーヤーであり³、欧州のトレードファイナンスにおいても、大企業に対する着実な浸透率上昇が奏功し、第1位です⁴。事業活動は持続的なペースで増加しています。融資残高は1,589億ユーロ⁵（前年同期比8.7%増⁵）、預金残高は1,920億ユーロ（同34.2%増⁵）でした。

グローバル・マーケット部門の当四半期の営業収益は17億1,100万ユーロで、高水準の顧客取引に伴い、前年同期比31.8%の急増でした。当四半期はFICC⁶業務の伸びが極めて力強く（前年同期比+36.0%）、株式・プライムサービス業務の伸びも堅調でした（+21.4%）。市場リスクの尺度であるバリュアット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は、平均で4,600万ユーロでした。VaRは市場がボラティリティショックの最中だった3月下旬のピーク水準（7,000万ユーロ超）から戻していますが、2019年度のボトム水準を依然上回っています。

グローバル・マーケット部門では、市場環境が正常化する中で事業活動が好調でした。金利・為替市場については市場シェアの上昇が貢献して顧客取引が高水準で、また、株式市場でもデリバティブ業務とプライムブローカレッジ業務の双方が堅調でした。プライムブローカレッジ業務では、ドイツ銀行と交わした事業移管合意の実施を予定通り推進し、また、戦略的連携の拡大も続け、例えばナットウエスト・マーケットと共に上場デリバティブの取引執行・清算サービスを提供しています。

FICC⁶業務の営業収益は、当四半期は12億4,500万ユーロとなり、前年同期比で大幅に増加し（+36.0%）、全事業（特に為替とコモディティ）ならびに全地域（特に新興市場）で増収を果たしました。FICC業務はプライマリー市場で当四半期に高水準の債券発行を達成し（2019年と同等水準）、ユーロ建て債券の起債で首位に輝きました⁷。

¹ EMEA：欧州、中東、アフリカ

² 出所：Dealogic社、2020年9月末時点、ブックランナーのランキング（金額ベース）ーグローバル投資適格社債市場、EMEAローン市場、EMEAエクイティキャピタル市場

³ 出所：Dealogic社、2020年9月末時点、収益ベースのランキング

⁴ 出所：2020 Greenwich Associates Share Leaders 「European Large Corporates Trade Finance」

⁵ 四半期平均残高（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く）

⁶ Fixed Income, Currencies and Commodities（債券、通貨、コモディティ）

⁷ 出所：Dealogic社、2020年9月末時点；ブックランナー

株式・プライムサービス業務の営業収益は、当四半期は4億6,600万ユーロに上り、前年同期比21.4%の増収でした。顧客のデリバティブ取引が特に米国を中心に高水準だったことやプライムサービス業務の着実な増加の成果です。

証券管理部門の営業収益は、当四半期は5億4,400万ユーロとなり、前年同期比1.6%の増収でした。資産の期中平均残高が減少したものの、手数料収入の増加が十二分に補いました。資産の期中平均残高は3月の市場下落の影響で前年同期比1.4%減少しましたが、回復を続けており、2020年9月末時点の資産残高は2020年3月末比で大きく増加しています(+7.7%)。証券管理部門は高水準の事業活動を維持しました。これに寄与した要因は、プライベートキャピタル分野のカストディアンサービスの伸長、統合型バンキングモデルに基づく取引関係強化（為替取引関連の協力、担保管理、デリバティブ取引の清算など）、アジア太平洋地域や米州における力強い事業拡大の継続です。

CIB部門の営業費用は、当四半期は21億1,700万ユーロとなり、前年同期比7.2%増加しました。高水準の事業活動に伴う費用増はコスト節減策の効果で抑制され、大幅な正のジョーズ効果が生み出されました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと11.3ポイント）。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当四半期に12億5,500万ユーロに上り、前年同期比39.7%の大幅増益となりました。

CIB部門のリスク費用は、当四半期は3億1,100万ユーロで、前年同期に比べ2億2,300万ユーロの増加でした。特に当四半期に生じた2件の債権の影響が響きました。

以上から、CIB部門の税引前利益は当四半期に9億5,500万ユーロとなり、前年同期比14.6%の増益でした。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、CIB部門の営業収益は104億4,800万ユーロに上り、前年同期比16.4%増でした。3部門全てで増収を果たし、グローバル・マーケット部門は25.8%増、コーポレート・バンキング部門は11.1%増、証券管理部門は5.6%増¹でした。危機関連で生じたお客様固有のニーズ（資金調達、金利・為替ヘッジ、リソースの再配分など）への対応により、取引が急増しました。

コーポレート・バンキング部門の営業収益は、当第3四半期累計期間は34億4,600万ユーロ、前年同期比11.1%の増収でした。お客様の支援に向けて力強く結集し、事業活動の強化を推進していることが奏功し、全地域（特にEMEA地域²）で伸びが高水準でした。グローバル・マーケット部門の営業収益は53億2,100万ユーロ、前年同期比25.8%増でした。FICC³業務の営業収益は46億5,000万ユーロと大幅増でした。健康危機下の固有のニーズから生じた顧客取引の活発さが増収要因となり、例えばプライマリー/クレジット市場における持続的な高水準の取引、金利市場における力強い取引の伸び、為替・エマージング市場における好調な取引の伸びが貢献しました。当第3四半期累計期間において株式・プライムサービス業務の営業収益は6億6,900万ユーロへ急減しました（前年同期は14億8,700万ユーロ）。特に年初に市場の急落ショックに見舞われた影響や欧州当局が2019年度の配当に求めた支払抑制の影響を被りました。証券管理部門の営業収益は16億8,100万ユーロ、前年同期比2.1%増⁴でした。特に取引高の急増が寄与しましたが、健康危機が第1四半期の市場のバリュエーションに及ぼした影響により資産が減少したため一部相殺されました。

CIB部門の営業費用は、当第3四半期累計期間は67億2,900万ユーロとなり、前年同期比4.6%増でした。事業の伸びに伴って増加しましたが、コスト節減策による抑制が奏功し、11.8ポイントの正のジョーズ効果が生み出されました。

¹ 第2四半期の特定の取引の好影響を除く

² EMEA：欧州、中東、アフリカ

³ Fixed Income, Currencies, and Commodities（債券、通貨、コモディティ）

⁴ 2019年度第3四半期累計期間（2019年度第2四半期の特定の取引の好影響を除く）との比較では+5.6%



これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当第3四半期累計期間に37億1900万ユーロに上り、前年同期比46.1%の増益を果たしました。

CIB部門のリスク費用は9億9,200万ユーロでした。主体は健康危機関連の予想損失事前引当と特定の債権に伴う費用でした。

以上から、CIB部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に27億4,400万ユーロに上り、前年同期比14.1%の増益でした。

*
* *



コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期は-1億6,500万ユーロでした（前年同期は2,700万ユーロ）。当四半期の営業収益がマイナスに陥った要因は、健康危機によって生じたプリンシパル・インベストメントのバリュエーション低下、デリバティブの信用リスク再評価（債務評価調整：DVA、-7,400万ユーロ）、当四半期に生じた非経常的項目のマイナス影響です。

営業費用は、当四半期は1億6,500万ユーロでした。この中には、一時項目として、健康危機関連の寄付とスタッフ安全対策費用（2,100万ユーロ）、事業再編費用¹と事業適応費用²（4,400万ユーロ。前年同期は7,800万ユーロ）、IT強化費用（4,000万ユーロ）が含まれています。計画通り、事業変革費用は2020年度には計上されていません（前年同期は1億7,800万ユーロ）。

リスク費用は、当四半期に純額で300万ユーロの引当金戻入益を計上しました（前年同期は100万ユーロの引当金繰入）。

他の営業外項目は当四半期に3,600万ユーロの利益となりました（前年同期は2,000万ユーロの利益）。この中には、建物売却による譲渡益（4,100万ユーロ）が含まれています。

以上から、コーポレート・センターの当四半期の税引前損益は2億7,500万ユーロの損失でした（前年同期は2億9,900万ユーロの損失）。

2020年度第3四半期累計期間（1-9月）において、コーポレート・センターの営業収益は-1億1,700万ユーロで（前年同期は1億1,700万ユーロ）、特に健康危機によって生じたプリンシパル・インベストメントのマイナス寄与と第3四半期に生じた非経常的項目のマイナス影響が反映されています。営業費用は6億700万ユーロでした。この中には、一時項目として、健康危機関連の寄付とスタッフ安全対策費用（1億700万ユーロ）、事業再編費用³と事業適応費用²（1億2,000万ユーロ。前年同期は2億2,900万ユーロ）、IT強化費用（1億1,900万ユーロ）が含まれています。計画通り、事業変革費用は2020年度には計上されていません（前年同期は5億6,800万ユーロ）。

リスク費用は、予想損失の事前引当の影響を含め、当第3四半期累計期間は4,300万ユーロでした（前年同期は純額で200万ユーロの戻入益）。他の営業外項目は5億1,900万ユーロの利益で（前年同期は7億2,400万ユーロの利益）、建物売却による譲渡益（+5億600万ユーロ）が反映されています。ちなみに、前年同期の営業外項目には、一時項目として、インドのSBI Life持分16.8%の売却による譲渡益および残部⁴の連結範囲からの除外による影響（+14億5,000万ユーロ）、のれんの減損損失（-8億1,800万ユーロ）が含まれていました。以上から、コーポレート・センターの税引前損益は、当第3四半期累計期間は1億9,800万ユーロの損失となりました（前年同期は2億9,100万ユーロの損失）。

*
* *

¹ 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

² 特にウェルス・マネジメント部門、バンクウエスト、CIB部門に関連

³ 主にRaiffeisen Bank Polskaの買収により生じた事業再編費用および特定の事業（とりわけBNP Paribas Suisse）の中止・再編に関わる費用

⁴ SBI Life株の残りの5.2%持分



財務構造

当グループのバランスシートは極めて盤石です。

普通株式等Tier 1比率は2020年9月末現在で12.6%¹となり、2020年6月末の水準から20bp上昇しました。この上昇の要因は以下の通りです。

- 配当性向50%を考慮後、当四半期純利益を剰余金に計上 (+10 bp)
- リスクアセットの減少（為替レート変動の影響を除く、+10 bp）。

他の要因が普通株式等Tier 1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

2020年9月末時点の普通株式等Tier1比率¹は、欧州中央銀行（ECB）の義務付け比率（2020年9月末現在9.22%²）を大幅に上回り、2020年度事業計画の目標値（12.0%）をも上回っています。

レバレッジ比率³は、2020年9月末現在で4.4%でした。

即時利用可能な剰余資金は2020年9月末現在で4,720億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

¹ 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号移行条項を含む

² カウンターシクリカル・バッファ解除を考慮し、資本要求指令5（CRD5）第104a条に従い、第2の柱ガイダンス（P2G）を除いた比率

³ 欧州委員会規則第2020/873号（第500b条）に基づき算定した比率

連結損益計算書

	3Q20	3Q19	3Q20 / 3Q19	2Q20	3Q20 / 2Q20	9M20	9M19	9M20 / 9M19
(単位：百万ユーロ)								
グループ								
営業収益	10,885	10,896	-0.1%	11,675	-6.8%	33,448	33,264	+0.6%
営業費用および減価償却費	-7,137	-7,421	-3.8%	-7,338	-2.7%	-22,632	-23,305	-2.9%
営業総利益	3,748	3,475	+7.9%	4,337	-13.6%	10,816	9,959	+8.6%
リスク費用	-1,245	-847	+47.0%	-1,447	-14.0%	-4,118	-2,237	+84.1%
営業利益	2,503	2,628	-4.8%	2,890	-13.4%	6,698	7,722	-13.3%
持分法適用会社投資損益	130	143	-9.1%	130	-0.0%	355	457	-22.3%
その他の営業外項目	38	34	+11.8%	106	-64.2%	539	686	-21.4%
営業外項目	168	177	-5.1%	236	-28.8%	894	1,143	-21.8%
税引前利益	2,671	2,805	-4.8%	3,126	-14.6%	7,592	8,865	-14.4%
法人税	-692	-767	-9.8%	-746	-7.2%	-1,849	-2,229	-17.0%
少数株主帰属純利益	-85	-100	-15.0%	-81	+4.9%	-268	-312	-14.1%
株主帰属純利益	1,894	1,938	-2.3%	2,299	-17.6%	5,475	6,324	-13.4%
コストインカム率	65.6%	68.1%	-2.5 pt	62.9%	+2.7 pt	67.7%	70.1%	-2.4 pt

BNPパリバの2020年度第3四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースに含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com>の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。



2020年度第3四半期 - コア事業別業績

	国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	コーポレート・ センター	グループ 合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	3,735	3,943	3,372	11,050	-165	10,885
対前年同期比	-0.4%	-7.2%	+17.4%	+1.7%	n.s.	-0.1%
対前四半期比	+3.7%	-2.1%	-18.2%	-6.0%	n.s.	-6.8%
営業費用および減価償却費	-2,473	-2,382	-2,117	-6,972	-165	-7,137
対前年同期比	-2.6%	-6.4%	+7.2%	-1.2%	-54.5%	-3.8%
対前四半期比	+4.1%	-1.3%	-4.6%	-0.5%	-49.8%	-2.7%
営業総利益	1,262	1,561	1,255	4,078	-330	3,748
対前年同期比	+4.4%	-8.4%	+39.7%	+7.0%	-1.7%	+7.9%
対前四半期比	+2.9%	-3.3%	-34.1%	-14.0%	-18.7%	-13.6%
リスク費用	-346	-592	-310	-1,248	3	-1,245
対前年同期比	+40.5%	+14.3%	n.s.	+47.5%	n.s.	+47.0%
対前四半期比	+5.1%	-22.7%	-2.9%	-11.7%	n.s.	-14.0%
営業利益	916	969	945	2,830	-327	2,503
対前年同期比	-4.8%	-18.3%	+15.7%	-4.6%	-2.9%	-4.8%
対前四半期比	+2.1%	+14.3%	-40.3%	-15.0%	-25.5%	-13.4%
持分法適用会社投資損益	4	107	3	114	16	130
その他の営業外項目	4	-9	7	2	36	38
税引前利益	924	1,067	955	2,947	-276	2,671
対前年同期比	-4.3%	-18.2%	+14.6%	-5.1%	-7.8%	-4.8%
対前四半期比	+2.8%	+11.1%	-39.8%	-14.5%	-14.0%	-14.6%

	国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	コーポレート・ センター	グループ 合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	3,735	3,943	3,372	11,050	-165	10,885
前年同期	3,748	4,248	2,873	10,869	27	10,896
前四半期	3,602	4,027	4,123	11,753	-78	11,675
営業費用および減価償却費	-2,473	-2,382	-2,117	-6,972	-165	-7,137
前年同期	-2,539	-2,545	-1,974	-7,058	-363	-7,421
前四半期	-2,376	-2,414	-2,220	-7,009	-329	-7,338
営業総利益	1,262	1,561	1,255	4,078	-330	3,748
前年同期	1,209	1,704	898	3,811	-336	3,475
前四半期	1,226	1,613	1,904	4,743	-406	4,337
リスク費用	-346	-592	-310	-1,248	3	-1,245
前年同期	-246	-518	-81	-846	-1	-847
前四半期	-329	-765	-319	-1,414	-33	-1,447
営業利益	916	969	945	2,830	-327	2,503
前年同期	963	1,186	817	2,965	-337	2,628
前四半期	897	848	1,585	3,329	-439	2,890
持分法適用会社投資損益	4	107	3	114	16	130
前年同期	1	118	5	125	19	143
前四半期	1	116	-3	113	17	130
その他の営業外項目	4	-9	7	2	36	38
前年同期	2	1	11	14	20	34
前四半期	1	-3	6	4	102	106
税引前利益	924	1,067	955	2,947	-276	2,671
前年同期	966	1,305	834	3,104	-299	2,805
前四半期	899	960	1,587	3,446	-320	3,126
法人税						-692
少数株主帰属純利益						-85
株主帰属純利益						1,894

**2020年1-9月期 - コア事業別業績**

		国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	コーポレート・ センター	グループ合計
<i>(単位：百万ユーロ)</i>							
営業収益		11,094	12,023	10,448	33,565	-117	33,448
	対前年同期比	-2.5%	-6.0%	+16.4%	+1.3%	n.s.	+0.6%
営業費用および減価償却費		-7,733	-7,562	-6,729	-22,025	-607	-22,632
	対前年同期比	-1.9%	-2.9%	+4.6%	-0.4%	-49.4%	-2.9%
営業総利益		3,361	4,461	3,719	11,541	-725	10,816
	対前年同期比	-3.8%	-10.8%	+46.1%	+4.5%	-33.1%	+8.6%
リスク費用		-987	-2,097	-992	-4,075	-43	-4,118
	対前年同期比	+29.1%	+56.8%	n.s.	+82.0%	n.s.	+84.1%
営業利益		2,374	2,364	2,727	7,465	-767	6,698
	対前年同期比	-13.1%	-35.5%	+13.2%	-15.2%	-29.0%	-13.3%
持分法適用会社投資損益		4	297	3	304	51	355
その他の営業外項目		5	0	15	20	519	539
税引前利益		2,384	2,662	2,744	7,790	-198	7,592
	対前年同期比	-12.5%	-33.9%	+14.1%	-14.9%	-31.9%	-14.4%
法人税							-1,849
少数株主帰属純利益							-268
株主帰属純利益							5,475

連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
グループ							
営業収益	10,885	11,675	10,888	11,333	10,896	11,224	11,144
営業費用および減価償却費	-7,137	-7,338	-8,157	-8,032	-7,421	-7,435	-8,449
営業総利益	3,748	4,337	2,731	3,301	3,475	3,789	2,695
リスク費用	-1,245	-1,447	-1,426	-966	-847	-621	-769
営業利益	2,503	2,890	1,305	2,335	2,628	3,168	1,926
持分法適用会社投資損益	130	130	95	129	143	180	134
その他の営業外項目	38	106	395	65	34	29	623
税引前利益	2,671	3,126	1,795	2,529	2,805	3,377	2,683
法人税	-692	-746	-411	-582	-767	-795	-667
少数株主帰属純利益	-85	-81	-102	-98	-100	-114	-98
株主帰属純利益	1,894	2,299	1,282	1,849	1,938	2,468	1,918
コストインカム率	65.6%	62.9%	74.9%	70.9%	68.1%	66.2%	75.8%



(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
リテール・バンキング事業およびサービス事業 PEL/CELの影響を除く							
営業収益	7,677	7,615	7,823	8,286	8,006	8,045	8,096
営業費用および減価償却費	-4,855	-4,790	-5,650	-5,274	-5,084	-5,002	-5,586
営業総利益	2,822	2,825	2,172	3,012	2,922	3,042	2,510
リスク費用	-938	-1,095	-1,050	-826	-765	-604	-733
営業利益	1,883	1,730	1,122	2,187	2,158	2,439	1,777
持分法適用会社投資損益	111	116	74	111	119	151	108
その他の営業外項目	-5	-2	12	-4	3	-27	1
税引前利益	1,990	1,845	1,208	2,294	2,280	2,563	1,886
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	55.6	55.8	55.8	54.9	54.7	54.6	54.3

(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
リテール・バンキング事業およびサービス事業							
営業収益	7,678	7,630	7,810	8,278	7,997	8,072	8,099
営業費用および減価償却費	-4,855	-4,790	-5,650	-5,274	-5,084	-5,002	-5,586
営業総利益	2,823	2,840	2,159	3,004	2,913	3,070	2,513
リスク費用	-938	-1,095	-1,050	-826	-765	-604	-733
営業利益	1,885	1,745	1,109	2,178	2,148	2,467	1,780
持分法適用会社投資損益	111	116	74	111	119	151	108
その他の営業外項目	-5	-2	12	-4	3	-27	1
税引前利益	1,991	1,859	1,195	2,286	2,270	2,591	1,889
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	55.6	55.8	55.8	54.9	54.7	54.6	54.3

(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
国内市場部門 (フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む) ¹ PEL/CELの影響を除く							
営業収益	3,867	3,721	3,913	4,036	3,892	3,925	3,961
営業費用および減価償却費	-2,543	-2,446	-2,970	-2,635	-2,607	-2,516	-2,983
営業総利益	1,324	1,276	943	1,402	1,285	1,408	978
リスク費用	-353	-331	-313	-254	-245	-214	-307
営業利益	971	944	630	1,147	1,040	1,194	671
持分法適用会社投資損益	4	1	0	4	1	2	-6
その他の営業外項目	4	1	1	4	2	-6	1
税引前利益	978	946	630	1,156	1,043	1,190	666
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-56	-62	-56	-62	-67	-68	-58
国内市場部門税引前利益	922	884	574	1,093	975	1,122	608
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	26.3	26.1	26.0	25.7	25.7	25.7	25.5

(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
国内市場部門 (フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	3,735	3,602	3,757	3,887	3,748	3,810	3,816
営業費用および減価償却費	-2,473	-2,376	-2,885	-2,559	-2,539	-2,443	-2,897
営業総利益	1,262	1,226	872	1,328	1,209	1,367	919
リスク費用	-346	-329	-311	-252	-246	-213	-305
営業利益	916	897	561	1,077	963	1,154	615
持分法適用会社投資損益	4	1	0	4	1	2	-6
その他の営業外項目	4	1	0	4	2	-6	1
税引前利益	924	899	561	1,085	966	1,149	610
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	26.3	26.1	26.0	25.7	25.7	25.7	25.5

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
フランス国内リテール・バンキング事業 (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	1,498	1,423	1,511	1,560	1,558	1,624	1,597
うち受取利息純額	853	788	810	881	891	916	915
うち手数料	645	634	702	679	667	708	682
営業費用および減価償却費	-1,125	-1,074	-1,166	-1,152	-1,163	-1,102	-1,186
営業総利益	373	349	345	408	396	522	412
リスク費用	-137	-90	-101	-98	-75	-83	-72
営業利益	236	259	244	310	320	440	340
営業外項目	-2	0	-1	6	0	0	1
税引前利益	235	259	244	316	320	440	340
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-30	-33	-35	-32	-40	-37	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	205	226	209	283	281	402	306
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.0	10.8	10.6	10.1	10.0	9.9	9.8

(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
フランス国内リテール・バンキング事業 (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹ PEL/CELの影響を除く							
営業収益	1,496	1,408	1,524	1,569	1,568	1,596	1,595
うち受取利息純額	852	774	823	889	901	889	912
うち手数料	645	634	702	679	667	708	682
営業費用および減価償却費	-1,125	-1,074	-1,166	-1,152	-1,163	-1,102	-1,186
営業総利益	371	334	358	417	405	495	409
リスク費用	-137	-90	-101	-98	-75	-83	-72
営業利益	235	244	257	318	330	412	337
営業外項目	-2	0	-1	6	0	0	1
税引前利益	233	245	257	324	330	412	338
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-30	-33	-35	-32	-40	-37	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	203	212	222	292	290	374	304
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.0	10.8	10.6	10.1	10.0	9.9	9.8

(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
フランス国内リテール・バンキング事業 (フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	1,430	1,354	1,437	1,489	1,490	1,549	1,522
営業費用および減価償却費	-1,093	-1,040	-1,129	-1,116	-1,133	-1,065	-1,147
営業総利益	337	314	308	373	357	484	376
リスク費用	-130	-88	-99	-96	-77	-81	-70
営業利益	207	226	209	277	281	402	305
営業外項目	-2	0	-1	6	0	0	1
税引前利益	205	226	209	283	281	402	306
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.0	10.8	10.6	10.1	10.0	9.9	9.8

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項: 当該引当金は、フランス国内リテール・バンキング事業収益において計上されているが、住宅貯蓄制度 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅貯蓄口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している

(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
PEL-CELの影響	1	15	-13	-9	-10	28	2



(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
BNLバンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	669	649	659	755	663	684	675
営業費用および減価償却費	-426	-422	-465	-450	-446	-433	-470
営業総利益	244	227	194	305	217	251	205
リスク費用	-122	-122	-120	-109	-109	-107	-165
営業利益	122	105	74	196	108	144	40
営業外項目	0	-2	0	-4	0	0	0
税引前利益	122	104	73	191	108	144	40
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-7	-9	-10	-10	-10	-11	-10
BNLバンカ・コメルシアール税引前利益	115	95	64	181	98	133	30
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
BNLバンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	649	629	637	732	641	663	654
営業費用および減価償却費	-413	-410	-453	-438	-434	-422	-460
営業総利益	236	218	184	295	207	241	195
リスク費用	-121	-122	-120	-109	-109	-108	-164
営業利益	115	96	64	186	98	133	30
営業外項目	0	-2	0	-4	0	0	0
税引前利益	115	95	64	181	98	133	30
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
ベルギー国内リテール・バンキング事業 (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	851	835	885	878	853	878	915
営業費用および減価償却費	-523	-499	-830	-560	-541	-535	-844
営業総利益	329	336	55	318	312	342	71
リスク費用	-29	-80	-54	-5	-20	3	-34
営業利益	300	256	0	313	292	345	37
持分法適用会社投資損益	7	4	4	6	5	5	-3
その他の営業外項目	4	2	1	2	1	-6	0
税引前利益	311	262	5	321	298	344	35
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-18	-19	-10	-19	-17	-19	-14
ベルギー国内リテール・バンキング税引前利益	293	243	-4	302	281	325	21
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.5	5.6	5.7	5.8	5.8	5.9	5.8
ベルギー国内リテール・バンキング事業 (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	811	794	842	836	813	836	868
営業費用および減価償却費	-501	-477	-797	-536	-519	-512	-811
営業総利益	310	317	45	300	295	323	57
リスク費用	-28	-79	-54	-5	-20	3	-33
営業利益	282	237	-9	294	275	326	24
持分法適用会社投資損益	7	4	4	6	5	5	-3
その他の営業外項目	4	2	1	2	1	-6	0
税引前利益	293	243	-4	302	281	325	21
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.5	5.6	5.7	5.8	5.8	5.9	5.8

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	850	829	845	834	807	767	776
営業費用および減価償却費	-469	-451	-508	-473	-457	-447	-483
営業総利益	380	378	337	362	351	320	292
リスク費用	-66	-40	-38	-42	-41	-27	-37
営業利益	314	339	299	320	310	293	256
持分法適用会社投資損益	-2	-3	-4	-2	-4	-4	-3
その他の営業外項目	0	0	0	0	1	0	0
税引前利益	312	336	295	318	307	290	253
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-1	-2	-1	-1	-1	0
その他国内市場部門税引前利益	311	335	293	318	306	289	253
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.6	4.5
(単位: 百万ユーロ)							
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	846	825	841	830	804	763	772
営業費用および減価償却費	-466	-448	-505	-469	-454	-444	-480
営業総利益	379	377	335	361	350	319	292
リスク費用	-66	-40	-38	-42	-41	-27	-37
営業利益	313	337	297	319	309	292	255
持分法適用会社投資損益	-2	-3	-4	-2	-4	-4	-3
その他の営業外項目	0	0	0	0	1	0	0
税引前利益	311	335	293	318	306	289	253
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	4.6	4.5

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位：百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
国際金融サービス部門							
営業収益	3,943	4,027	4,053	4,391	4,248	4,262	4,282
営業費用および減価償却費	-2,382	-2,414	-2,766	-2,715	-2,545	-2,559	-2,688
営業総利益	1,561	1,613	1,287	1,675	1,704	1,703	1,594
リスク費用	-592	-765	-739	-574	-518	-390	-428
営業利益	969	848	548	1,101	1,186	1,313	1,165
持分法適用会社投資損益	107	116	75	107	118	149	113
その他の営業外項目	-9	-3	12	-8	1	-21	0
税引前利益	1,067	960	634	1,201	1,305	1,442	1,279
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	29.3	29.8	29.8	29.2	29.1	28.9	28.8
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,343	1,302	1,475	1,485	1,444	1,440	1,427
営業費用および減価償却費	-641	-641	-787	-721	-664	-702	-770
営業総利益	703	661	688	764	781	738	656
リスク費用	-383	-450	-582	-370	-366	-289	-329
営業利益	320	211	105	394	415	449	327
持分法適用会社投資損益	7	-5	8	-9	19	17	13
その他の営業外項目	-11	4	0	-11	0	-13	0
税引前利益	315	210	113	374	434	454	340
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	8.0	8.1	8.1	7.9	8.0	7.9	7.8
欧州・地中海沿岸諸国部門（トルコ国内プライベート・バンキングの100%を含む）¹							
営業収益	561	609	665	702	657	674	665
営業費用および減価償却費	-405	-414	-490	-459	-439	-445	-456
営業総利益	156	196	175	243	218	230	210
リスク費用	-113	-143	-86	-113	-112	-97	-77
営業利益	43	53	89	129	107	132	133
持分法適用会社投資損益	52	53	55	61	44	66	53
その他の営業外項目	-1	-25	3	8	-1	0	0
税引前利益	93	80	147	198	150	198	186
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-1	-3	-1	-1	-1	-1
欧州・地中海沿岸諸国部門税引前利益	91	79	144	197	150	197	185
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	5.2	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
欧州・地中海沿岸諸国部門（トルコ国内プライベート・バンキングの2/3を含む）							
営業収益	557	606	660	699	655	672	663
営業費用および減価償却費	-403	-411	-488	-458	-438	-444	-455
営業総利益	154	194	172	241	217	228	209
リスク費用	-113	-143	-86	-113	-111	-97	-77
営業利益	41	51	86	128	106	131	132
持分法適用会社投資損益	52	53	55	61	44	66	53
その他の営業外項目	-1	-25	3	8	-1	0	0
税引前利益	91	79	144	197	150	197	185
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	5.2	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	627	629	611	611	601	593	569
営業費用および減価償却費	-403	-432	-465	-406	-433	-431	-442
営業総利益	224	197	146	205	168	162	127
リスク費用	-90	-167	-62	-84	-43	-2	-18
営業利益	134	30	83	121	125	160	109
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	2	-3	0	-5	1	1	0
税引前利益	136	27	83	116	126	161	109
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-6	-5	-5	-6	-7	-7	-8
NRBI	130	22	78	110	119	153	101
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.6	5.7	5.7	5.4	5.4	5.3	5.3
(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	612	614	596	595	585	576	553
営業費用および減価償却費	-394	-422	-455	-396	-423	-421	-433
営業総利益	218	192	141	199	161	155	119
リスク費用	-90	-167	-62	-84	-43	-2	-18
営業利益	128	25	78	115	118	152	101
営業外項目	2	-3	0	-5	1	1	0
税引前利益	130	22	78	110	119	153	101
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.6	5.7	5.7	5.4	5.4	5.3	5.3
(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
保険部門							
営業収益	697	828	579	654	761	779	874
営業費用および減価償却費	-347	-339	-393	-380	-370	-360	-389
営業総利益	350	489	186	274	390	419	484
リスク費用	0	-2	1	-1	-2	1	-2
営業利益	350	487	187	273	389	420	482
持分法適用会社投資損益	35	39	1	30	43	57	37
その他の営業外項目	0	21	9	0	0	-16	0
税引前利益	384	548	197	304	432	461	520
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	8.6	8.5	8.6	8.4	8.4	8.3	8.4
(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
ウェルス&アセット・マネジメント部門							
営業収益	734	678	743	957	803	795	766
営業費用および減価償却費	-598	-601	-642	-760	-649	-632	-641
営業総利益	136	77	101	197	154	163	125
リスク費用	-6	-4	-9	-6	4	-2	-2
営業利益	130	74	92	191	157	161	123
持分法適用会社投資損益	14	28	11	25	12	10	10
その他の営業外項目	1	0	0	-1	0	7	0
税引前利益	146	102	102	216	170	177	132
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
ホールセールバンキング部門							
営業収益	3,372	4,123	2,953	3,101	2,873	3,099	3,008
営業費用および減価償却費	-2,117	-2,220	-2,393	-2,229	-1,974	-1,997	-2,463
営業総利益	1,255	1,904	560	871	898	1,102	545
リスク費用	-310	-319	-363	-80	-81	-24	-32
営業利益	945	1,585	197	791	817	1,078	513
持分法適用会社投資損益	3	-3	3	4	5	5	2
その他の営業外項目	7	6	2	6	11	-25	-2
税引前利益	955	1,587	202	801	834	1,058	514
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	24.7	24.3	22.3	21.7	21.6	21.3	20.7
コーポレート・バンキング部門							
営業収益	1,118	1,258	1,070	1,210	1,039	1,094	969
営業費用および減価償却費	-598	-632	-748	-668	-600	-607	-724
営業総利益	520	627	321	541	440	487	245
リスク費用	-311	-366	-201	-80	-88	-21	-35
営業利益	209	261	121	461	352	467	210
営業外項目	2	-2	3	3	4	3	3
税引前利益	211	259	124	464	356	470	213
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	13.6	13.6	13.0	12.5	12.5	12.4	12.2
グローバル・マーケット部門							
営業収益	1,711	2,304	1,306	1,340	1,299	1,409	1,523
うち FICC	1,245	2,013	1,392	820	915	793	1,035
うち株式およびプライムサービス	466	290	-87	520	384	615	488
営業費用および減価償却費	-1,065	-1,137	-1,162	-1,117	-926	-913	-1,276
営業総利益	646	1,167	143	223	373	496	248
リスク費用	1	45	-161	0	4	-6	3
営業利益	647	1,212	-17	222	377	491	251
持分法適用会社投資損益	0	-2	1	0	1	1	0
その他の営業外項目	0	3	0	6	9	-25	1
税引前利益	648	1,214	-17	229	387	467	252
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	10.1	9.8	8.4	8.3	8.1	8.0	7.7
証券管理部門							
営業収益	544	561	577	551	535	596	516
営業費用および減価償却費	-454	-451	-482	-444	-449	-477	-463
営業総利益	89	109	95	107	86	119	53
リスク費用	0	2	-2	0	2	2	-1
営業利益	89	111	93	108	88	121	52
営業外項目	7	3	2	0	2	0	-3
税引前利益	96	114	95	108	91	121	50
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8



(単位：百万ユーロ)	3Q20	2Q20	1Q20	4Q19	3Q19	2Q19	1Q19
コーポレート・センター							
営業収益	-165	-78	126	-45	27	53	37
営業費用および減価償却費	-165	-329	-114	-529	-363	-436	-400
うち事業改編、再編および適応費用	-84	-75	-79	-420	-256	-335	-206
営業総利益	-330	-406	12	-574	-336	-383	-363
リスク費用	3	-33	-13	-60	-1	7	-4
営業利益	-327	-439	-1	-634	-337	-377	-367
持分法適用会社投資損益	16	17	18	14	19	24	24
その他の営業外項目	36	102	381	62	20	81	623
税引前利益	-275	-320	398	-558	-299	-272	280



連結貸借対照表－2020年9月30日現在

(単位：100万ユーロ)	2020年9月30日	2019年12月31日
資産		
預金および中央銀行預け金	315,855	155,135
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産		
トレーディング目的有価証券	219,709	131,935
貸出金および売戻契約	288,343	196,927
デリバティブ金融商品	272,013	247,287
ヘッジ目的デリバティブ	17,192	12,452
その他の包括利益を通じ公正価値で測定する金融資産		
負債性金融商品	55,412	50,403
資本性金融商品	2,144	2,266
償却原価で測定する金融資産		
金融機関貸出金および債権	37,896	21,692
顧客貸出金および債権	811,409	805,777
負債性金融商品	119,594	108,454
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	6,129	4,303
保険事業に係る金融商品	255,602	257,818
当期および繰延税金資産	6,498	6,813
未収収益およびその他の資産	138,104	113,535
持分法適用会社投資	5,999	5,952
有形固定資産および投資不動産	32,259	32,295
無形固定資産	3,756	3,852
のれん	7,584	7,817
資産合計	2,595,498	2,164,713
負債		
中央銀行預金	4,877	2,985
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債		
トレーディング目的有価証券	99,995	65,490
預金および買戻契約	329,080	215,093
負債証券	61,910	63,758
デリバティブ金融商品	274,904	237,885
ヘッジ目的デリバティブ	14,611	14,116
償却原価で測定する金融負債		
金融機関預金	177,865	84,566
顧客預金	966,257	834,667
負債証券	162,875	157,578
劣後債	23,036	20,003
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	7,001	3,989
当期および繰延税金負債	3,334	3,566
未払費用およびその他の負債	112,349	102,749
保険会社の責任準備金	231,918	236,937
偶発債務等引当金	9,037	9,486
負債合計	2,479,049	2,052,868
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	106,613	97,135
親会社株主帰属当期純利益	5,475	8,173
資本金、払込剰余金、利益剰余金、 および親会社株主帰属当期純利益合計	112,088	105,308
資本に直接認識される資産および負債の変動	-302	2,145
親会社株主資本	111,786	107,453
少数株主資本	4,663	4,392
連結資本合計	116,449	111,845
負債および連結資本合計	2,595,498	2,164,713

代替的業績指標 (Alternative Performance Measures: APM)
フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書 (P/L) (各事業部門の営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	国内市場部門、国際金融サービス部門、ホールセールバンキング事業の損益計算書の合計 (なお、国内市場部門の損益には、フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む) BNPパリバ・グループ損益計算書 =事業部門 + コーポレート・センターの損益計算書の合計 グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」の表で開示	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 (各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベート・バンキングの100%を含むリテール・バンキング事業の損益計算書の合計	プライベート・バンキング全体の損益を含むリテール・バンキング事業の損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示	リテール・バンキング事業の業績を示す指標であり、プライベート・バンキングの業績の全部を含む (プライベート・バンキングは、リテール・バンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)
営業費用の変化 (IFRIC 21を除外後)	IFRIC 21に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC21に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を第1四半期に計上するが、その影響を排除した上で当事業年度1-9月期の営業費用の推移を表す指標
コスト/インカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用÷期首顧客向け融資残高 (単位: bp)	リスク費用 (単位: 百万ユーロ) を期首の顧客向け融資残高で除したものの 詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」で開示	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	金融資産 (ステージ3) の引当金と当該資産 (ステージ3) の減損後残高との関係を表す指標。 対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む (保険事業を除く)	不良債権に対する引当の状況を表す指標
一時項目を除く株主帰属純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある
自己資本利益率 (ROE)	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率 (ROTE)	ROTЕの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



比較分析 – 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他経費、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門： 以下の3部門から成る。

- 国内市場部門：フランス国内リテール・バンキング（FRB）、BNLバンカ・コメルシアール（BNL bc）、ベルギー国内リテール・バンキング（BRB）、その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickel、ルクセンブルク国内リテール・バンキング（LRB）を含む）
- 国際金融サービス部門（IFS）：欧州・地中海沿岸諸国部門、バンクウェスト、パーソナル・ファイナンス、保険部門、ウェルス&アセット・マネジメント（WAM）を含む。WAMには、アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、および不動産管理部門が含まれる
- ホールセールバンキング部門（CIB）：コーポレートバンキング部門、グローバルマーケット部門、証券管理部門を含む

経済に資する結束力を示し、レジリエンスの高さを決算で証明.....	2
リテール・バンキング&サービス事業	6
国内市場部門.....	6
国際金融サービス部門.....	11
ホールセールバンキング (CIB) 部門.....	17
コーポレート・センター.....	20
財務構造.....	21
連結損益計算書.....	22
2020年度第3四半期 – コア事業別業績.....	23
2020年1-9月期 – コア事業別業績.....	24
連結四半期業績の推移.....	25
連結貸借対照表 – 2020年9月30日現在.....	34
代替的業績指標 (Alternative Performance Measures: APM) フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第223-1条に基づく開示.....	35

本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化（世界的には特に新型コロナウイルス感染症流行関連）、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process : SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNP パリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 42 98 46 45

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Philippe Regli +33 (0)1 43 16 94 89

Debt Investor Relation Officer

Claire Sineux +33 (0)1 42 98 31 99

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas.com>



BNP PARIBAS

**The bank
for a changing
world**